

オキナワシャリンバイ

か めい
科名 バラ

べつ めい
別名 モッコクモドキ

がくめい
学名 *Raphiolepis indica* var. *Iiukuensis*.



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 おきなわ
沖縄

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい
長楕円形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん、きよし
全縁、鋸歯

は さき
葉 の 先 どんけい
鈍形

は しゆるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きふ くさびがた
葉 の 基部 くさび形

み しゆるい えきか
実 の 種類 液果

はな がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

せいめい
説 明 かいがんちか ていち せいいく じょうりよく ていぼく は かくしつ こうたく ごせい ちょうだえんけい なが
海岸近くや低地に生育する常緑の低木です。葉は革質で光沢があり互生し長楕円形、長
さ5-10 cm、幅1-3 cmです。葉先は鈍形、葉の縁はやや波形の鋸歯があります。白い花が咲き
ます。実は熟すと黒くなります。樹皮は染め物の原料として使われます。